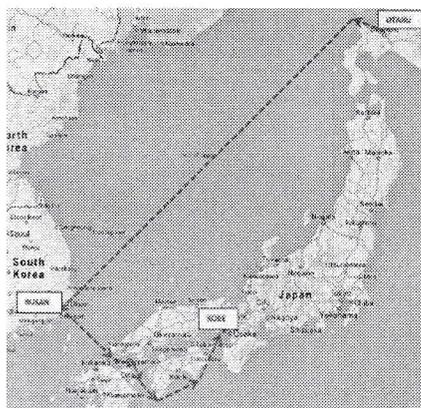


## 気軽にクルーズ 5日間

サン・プリンセス — 2014年9月20日～9月24日



### In command 船長 ディエゴ・ペッラ

ディエゴ・ペッラ (Diego Perra) 船長はイタリアのカリアリ出身です。イタリア海軍に所属していた二年間には、空母や大型帆船に乗り込んで活躍し、ブロンズ市民勲章を受章しました。フェリーにて初めて指揮官となり、1998年スカイ・プリンセスの二等航海士としてプリンセス・クルーズの一員となりました。2013年に船長に昇格しました。陸の上でのペッラ船長は、バイクに乗ったり、二人の息子と一緒に遊んだりして過ごします。木造のボートを修復したり、考古学遺跡を訪れることもあります。

港	海里 (NM)	スピード(ノット)
小樽から釜山	760	18.5
釜山から神戸	382	13.0

### 小樽から神戸までの総航海距離

1142 海里 = 1,313.3 ランドマイル (M) = 2,112.7 キロメートル (km)

注: 1 海里 (NM) = 1.15 ランドマイル (M) = 1.85 キロメートル (km)



以下は、ナビゲーションブリッジにて当直のオフィサーによって  
記録された航海日誌より抜粋したものです。

### 小樽 – 2014年9月20日(土)

乗客および乗組員全員の乗船を確認後、サン・プリンセスは出港のロープを放ちました。午後5時00分には港を抜け、水先案内人が下船し、南方への船旅がスタートしました。まずは北西に進路を取り、高島岬を回り込みました。その後、左手南西に進路を変更し、次の寄港地、釜山へ向けて日本海を夜通し航海しました。

正午位置 : 小樽・勝納 2番 & 3番ふ頭  
 天候 : 2/8曇り  
 気温 : 21°C/70°F  
 気圧 : 1012.0 HPa  
 風力 : 北西 ビューフォート風力 2  
 風浪階級 : さざ波(港)

### 終日航海日 – 2014年9月21日(日)

小樽を出港後、高島岬を回りきった地点で設定した南西方向を維持し、日中を通して日本海を進みました。途中、ヘオルン湾を通過します。

正午位置 : 緯度: 31°53.3'N・経度: 135°32.9'E  
 天候 : 1/8曇り  
 気温 : 19°C/66°F  
 気圧 : 1018.3 HPa  
 風力 : 北西 ビューフォート風力 2  
 風浪階級 : やや波がある

ウーリン湾の南西2キロ沖を通過し、朝鮮海峡に向かって一晩中航海しました。

### 釜山 – 2014年9月22日(月)

午前10時57分に水先案内人が乗船し、サン・プリンセスは釜山港へ入りました。防波堤を通過後、左方向に進路を変え、午前11時32分に接岸しました。

正午位置 : 韓国・釜山・国際クルーズターミナル  
 天候 : 2/8曇り  
 気温 : 25°C/77°F  
 気圧 : 1008.2 HPa  
 風力 : 北東 ビューフォート風力 2  
 風浪階級 : さざ波(港)

出港準備がすべて整った午後6時53分、サン・プリンセスはロープを放ちました。防波堤を抜けて港を離れ、午後7時15分に水先案内人が下船しました。右方向に曲がり、神戸へ向けて南東に進路を定めました。



## 終日航海日 - 2014年9月23日(火)

早朝5時00分、サン・プリンセスは関門海峡にさしかかりました。金ノ弦(かねのつる)岬を左手に通過しながら左方向に進路に変え、部崎(へさき)灯台を右手に回り込みました。午前6時30分、関門海峡を通過完了しました。その後、周防灘、豊後水道を抜け、四国湾に入りました。

正午位置 : 緯度: 32°56.8'N・経度: 132°17.5'E  
 天候 : 6/8曇り  
 気温 : 23°C/73°F  
 気圧 : 1018.8 HPa  
 風力 : 東ビューフォート風力 4  
 風浪階級 : さざ波

その後も一日中航海を続けました。高知県の南東を通過し、神戸へ向けて北東方向で進みました。

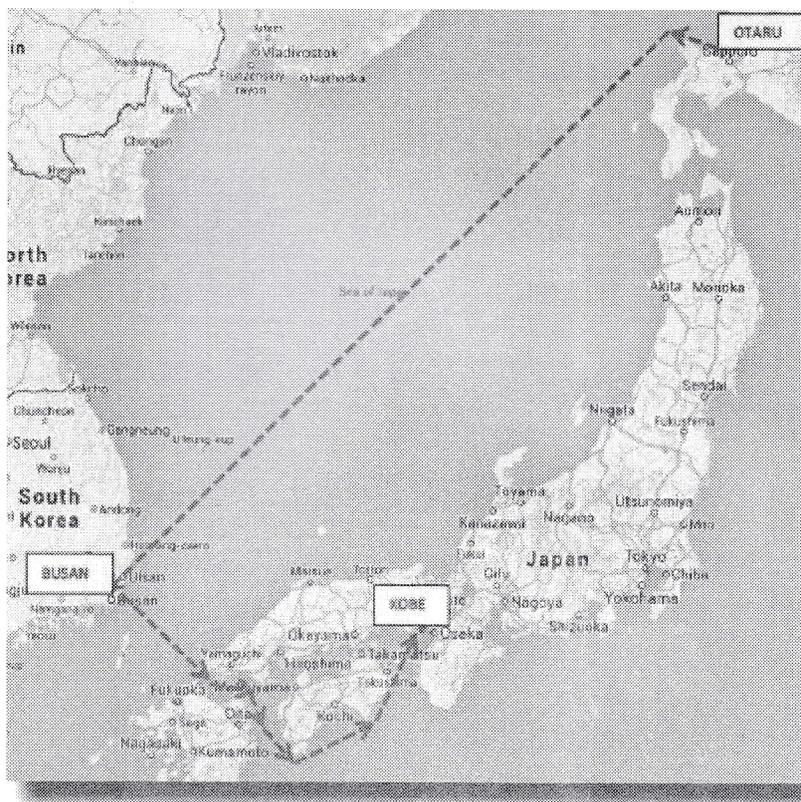
## \*神戸 - 2014年9月24日(水)

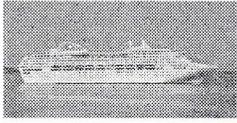
真夜中直前、サン・プリンセスは左手北北東に進路を変え、大阪湾へ向かいます。午前2時45分に水先案内人が乗船し、大阪湾の北側を進みます。六甲アイランドに接近し、午前6時に神戸の停泊地に接岸します。

正午位置 : 神戸・新港 4 Q 1&2側停泊地  
 天候 : 8/8曇り・雨  
 気温 : 26°C/79°F  
 気圧 : 1016.4 HPa  
 風力 : 北東ビューフォート風力 4  
 風浪階級 : さざ波(港)

\*記載時推定

皆様が今回のクルーズを楽しんでいただけたことを、ブリッジ一同、心より願っております。ご自宅まで、どうぞ安全にお帰りください。





# サン・プリンセス

運航: プリンセス・クルーズ  
 船籍: ハミルトン、バミューダ  
 総トン数: 77,441 トン  
 総トン数: 44,193 トン  
 喫水: 8.116m - 26.75 ft

全長: 261.3m - 857.2ft  
 全幅: 32.2m - 105.8ft  
 造船所: フィンカンティエリ-  
 モンファルコーネ、イタリア - 1995年  
 建造年: 1995年 11月

乗客定員数: 2,272名  
 乗組定員数: 900名

## ブリッジコマンドとコントロールチーム

船長	ディエゴ・ペツラ (イタリア)	キャプテン・イン・コマンド
副船長	ミケレ・コスタリョーラ・ディフィオレ (イタリア)	スタッフキャプテン・セカンド・イン・コマンド
首席一等航海士	アレッサンドロ・ジェンソ (イタリア)	ブリッジマネジャー・船のセーフティーオフィサー
一等航海士	ダリボール・キカ (クロアチア)	シニアオフィサー - プランニングオフィサー
首席二等航海士	ジュゼッペ・コッポラ (イタリア)	シニアオフィサー
二等航海士	シモーネ・カチアピュオツテイ (イタリア)	シニアオフィサー
三等航海士	アダム・スレイター (イギリス)	ジュニアオフィサー
三等航海士	アンドリュー・ヘア (イギリス)	ジュニアオフィサー
三等航海士	ライアン・スミス (イギリス)	ジュニアオフィサー
デッキ 訓練生	アントニーノ・アルピノ (イタリア)	トレーニーオフィサー
デッキ 訓練生	フェデリコ・ポリオ (イタリア)	トレーニーオフィサー

1日24時間ブリッジ(操舵室)に二人のオフィサーが常駐しており、4時間勤務し8時間の休憩をとります。

0000-0400 - 0400-0800 - 0800-1200 - 1200-1600 - 1600-2000 - 2000-2400

## ブリッジからお別れのメッセージ

このたびはサン・プリンセスにご乗船いただき、誠にありがとうございます。皆様が至福の時間を感じただけだ休日であることを願っております。お帰りの際は気をつけてご帰宅くださいますようお願いいたします。私キャプテンを含む、クルー一同皆様のまたのご乗船をお待ちしております。

船長 ディエゴ・ペツラ/ブリッジチーム(操舵室)